

教育目標 経営目標	【学校教育目標】 自ら学び 自ら考え 協働できる 心豊かな子供の育成 【学校経営目標】 「町を育てる学力」を基盤とした「郷土を愛する子供」の育成	めざす 児童像	○自ら考え行動することができる（主体性） ○困難なことにも諦めないで取り組むことができる（粘り強さ） ○自分の思いや考えを伝えることができる（表現力） ○相手の気持ちを大切に、共同して物事を行うことができる（思いやり・協同性） ○地域を知り、自分を取り巻く人や環境に感謝することができる（郷土愛・感謝）
--------------	---	------------	---

評価計画					自己評価					学校関係者評価			
中期経営目標	短期経営目標	目標達成の方策 (具体的な取組内容)	評価項目・指標	目標値	時期	達成値	評価	達成状況	改善方策	評価			コメント
										イ	ロ	ハ	
確かな学力	「主体性を発揮する児童の育成」を意識した授業づくりに取り組む。	・個に応じた指導を充実させる。 (低学年を中心とした学力補充や全校で取り組むのびのびタイムにより、基礎基本を定着させるとともに発展問題などにも取り組ませる) ・授業力向上プロジェクトにおいて、1人1研修や指導教諭による学習指導の研修を受けることで教諭一人一人の授業力の向上を図る。	国語科・算数科のテストにおいて、思考・判断・表現の観点で80点以上の児童の割合	80%以上	中間9月								
					最終2月								
豊かな心	「自分たちの生活をよりよくするためにどうすれば良いかを考え実践できる児童の育成」に取り組む。	・生活科、総合的な学習の時間の充実を図る。 (PBL「プロジェクト型学習」の考え方を生かした単元開発・探究的な学習の流れカードの活用・ふりかえりにおいて、次時に向けた見直しや思いを書かせる。)	児童アンケート内「課題解決力」の項目において、肯定的評価をする児童の割合	80%以上	中間9月								
					最終2月								
豊かな心	思いやりをもち、前向きに判断し行動する児童の育成を図る。	・各学年で挨拶のレベルを考えさせる。 ・毎月第3・4週目のチャレンジカードに挨拶に関する目標を書かせ意識づけをする。 ・朝会等で挨拶名人の表彰をする。	職員の見取りアンケート(挨拶の項目)において、肯定的評価をする職員の割合	75%以上	中間9月								
					最終2月								
年度途中の児童実態に応じて、必要であれば取組項目を増やす。					中間9月								
健やかな体	心身の健康・体力向上に自らチャレンジする児童の育成を図る。	「体を動かすことが楽しいと思える児童の育成」を意識した体力づくりの改善に取り組む。 ・生活リズムの習慣化等、基本的な生活習慣の定着を図る。	・体力朝会の充実を図る。 ・体力朝会や体育の授業の準備体操にACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れる。 ・全校レクを実施する。	80%以上	中間9月								
					最終2月								
健やかな体	生活リズムの習慣化等、基本的な生活習慣の定着を図る。	・学級担任や家庭と連携して基本的な生活習慣の定着を図る。	生活リズムづくりカードにおいて、肯定的な評価をした児童の割合	80%以上	中間9月								
					最終2月								
信頼される学校	教職員が健康で生き生きと働き、地域や保護者から信頼される学校を実現する。	業務改善に取組み児童と向き合う時間の確保と指導の充実を図る。 広く学校の取組を知ってもらう。	・見通しをもって仕事をする。 ・SSSを積極的に活用する。 ・企画委員会、衛生委員会で状況の確認や取組の提案を行う。	80%以上	中間9月								
					最終2月								
信頼される学校	広く学校の取組を知ってもらう。	・学校だより・学級だよりを充実させる。 ・研究の経過、行事の様子をHPで発信する。	学級だよりの発行回数	月2回以上	中間9月								
					最終2月								

【自己評価 評価基準】 A: 100% ≤ (目標達成) B: 80% ≤ (ほぼ達成) < 100% C: 60% ≤ (もう少し) < 80%	【学校関係者評価】 イ: 自己評価は適正である B: 自己評価は適正でない C: 分からない
--	---